

第180回 関西広域連合委員会

日時：令和7年8月28日（木）

場所：ホテルアバローム紀の国 2階

鳳凰の間

開会 11時07分

○三日月広域連合長 開始が遅れましたけれども、第180回の広域連合委員会をただいまより開催させていただきます。今日は2府6県構成府県の全ての知事がそろうという、第180回にふさわしい広域連合委員会になったのではないかと思います。

今日は和歌山県で宮崎知事はじめ皆様にお世話になって開催することとなりました。まずは開催地の和歌山県知事、宮崎委員から御挨拶をいただきたいと思います。

○宮崎委員 皆様、本日は和歌山県によろこそお越しをいただきましてありがとうございます。心より歓迎をいたします。6月に和歌山県知事に就任してから3か月になろうとしております。本日こうした形で皆様を知事としてお迎えをできたこと大変光栄に思っております。

生前、前知事の岸本は関西広域連合委員会が和歌山県で開催されるに当たり、しっかりと皆様をおもてなししようと大変張り切っておられました。本日はその思いに恥じぬように志半ばで御逝去された岸本前知事に代わりまして、最大限その役目を果たしたいと思います。何人かの知事様には墓前に手を合わせていただいて、本当にありがとうございました。

皆様御承知のとおり前知事の岸本は、とにかく県民の笑顔あふれる和歌山を第一に掲げて、亡くなる直前まで走っておられました。私も和歌山県知事として未来に向けて、県民がいきいきと働ける仕事をつくって、そしてそれを守っていかなければならない。そのためには第一次産業のほか地場産業も非常に重要であると思っております。そういった思いの中で、本日皆様には2つの記念品を御用意させていただきました。

た。

一つは、やはり梅でございます。和歌山と言えば梅というイメージがあるのではないかなと思います。和歌山における梅の生産量は日本一ですが、去年も含めて毎年ひょう被害を受けております。特に本年4月の被害は48億円という大変大きな影響が出ております。お手元の梅チューブというのは、梅ボーイズという若手の梅農家組織が塩と梅だけでつくったということで、無添加の梅チューブであります。非常に上質な梅製品であり、梅のクエン酸は疲労回復に役立つということが知られております。猛暑が続く中、皆様方の健康維持の一助になればと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

もう一つは、シュロの手ぼうきであります。あまり知られてはいないと思いますが、和歌山県の海南市、和歌山市の南側にあるのですけども、バス・キッチン・トイレ・ランドリー用品等を中心とした水回り商品、いわゆる家庭用品の全国有数の産地であります。かつて野上谷と呼ばれた地域の山間にシュロの木が自生・栽培されておりました。この木の幹を含む繊維から綱や網をはじめ、たわしやブラシなど多くの日用品がつくられておりました。その1つがお手元でございます手ぼうきになります。安価に輸入されたパームを使ったものとは違った、非常に手触りの良い上品な一品であり、職人が手がけた使い勝手の良い長く愛用できる手ぼうきであります。デスク周りの掃除に使っていただけたら幸いかと思います。

御承知のとおり大阪・関西万博の和歌山ゾーンのコンセプトも「上質な和歌山」であります。和歌山が誇る上質な製品を通じて、少しでも和歌山県の魅力を知っていただき、是非ファンになっていただいて皆様方にも宣伝をしていただけたらなと思います。御愛用いただければ大変ありがたく思います。

本日はどうかよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○三日月広域連合長      ありがとうございました。「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定されたという大変すばらしいニュースもござ

いますし、故岸本知事は「覚えたことは知識になる、忘れたことはセンスになる」という名言を私たちに伝えていただきました。是非皆様に結束してこの和歌山の魅力を感じながら、広域連合委員会、また午後からは議会もございますので、臨んでまいりたいと思います。本当にいろいろありがとうございます。

それでは、議題に移ります。まず大阪・関西万博、大変好評で多くの方が御来場いただいている「大阪・関西万博 関西パビリオンの状況等について」を議題といたしまして、こちらは大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会として開催いたしますので、ウェブで福井県、三重県からも御参加いただくことといたします。それでは本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料1－(1)を御覧ください。関西パビリオンの状況について御説明をいたします。1枚めくっていただきまして、次の別紙1でございます。来館者の状況ですが、極めて順調に今推移しております。こちらには8月25日までの来館者数を書いてございますが、本日の午後にも100万人を突破する予定でございます。午後のしかるべき時に100万人目の方の表彰をしたいというように考えているところでございます。今後会期末までの間に130万人をどこまでいくかというようなところが今の状況でございます。またこれについては別途御報告をいたします。

次に別紙2でございます。関西パビリオンの周辺は非常に暑うございます。かつ、関西パビリオンとしましては、多目的エリアは完全開放しておりますし予約なしで入れますが、あまり涼しい場所がないということもございまして、博覧会協会とも協議をしてパビリオンの正面入口向かって左に、お客様の休憩用のテントを設置しております。テント内はスポットクーラーで少し冷やしながら、我々のパビリオン内部の各府県の展示内容を示すデジタルサイネージを設置しているところでございます。これにつきましては、設置後まだ1か月経っておりませんが、1日2千人以上の方が御利用いただいている状況でございます。

さて、その次のページの参考資料でございます。これまでの振り返りであります

が、府県エリアや多目的エリアにおける展示の例ということを示しております。展示パターンは2つのパターンあるいはその混合パターンというものが我々の中心になってございます。1つは、「見る・知る」という知識付与型、あるいは体験型のイベントを行うパターンでございます。ここに上げておりますのは、至近時で行いました、本部事務局の「いのち育む“水”のつながりWEEK」についての写真を付けてございます。

もう一つは、「食べる・買う」そして試食も含めた「もらう」というものの展示パターンでございます。これにつきましては、至近時の「とっとりフェス」のものを付けております。それぞれ実はそれなりの動員でございまして、「見る・知る」パターンであっても約4千から5千の人が集まっておられますし、「食べる・買う・もらう」につきましては、平均して6千、マキシマムで9千というような動員をかけているところでございます。こういった形を併用しながらラストの10月13日に向けて、いろいろな展示や催事を進めてまいりたいと考えております。

もう一つは、万博後のレガシー創出に向けての準備を始めております。我々のパビリオンは関西各地へのゲートウェイの機能が果たすべき役割でございます。ですから、まずはゲートウェイ機能の効果測定に向けて、本部としましては来館者の日本人や外国人それぞれについてアンケートを実施しているところでございます。日本人は今現在500強のアンケート回収結果でございます。外国人は今始めたところでございますので、まだ100強というところでございます。これに加えて各府県さんでお持ちになっている効果測定も同時に集約をしてゲートウェイ機能として、どの程度の効果が出たのかあるいは出ていくのかというようなことをこれから急ぎ測定をしてまいりたいと考えております。

もう1点は、ゲートウェイ機能をさらに強化したいと考えております。これまでうちわを配布し、裏側には各府県のサテライト会場まで行かないともらえないスタンプを例示したところでございます。

もう1点は、観光で来られた外国人の方が予約が取れないということが現実としてございます。よって9月1日を目途として予約が取れなかった外国人の方について、何とか招待できないかというようなことを今考えているところでございます。申込みをいただいてメールアドレスを取得した上で、今後必要なインフォメーションも送付し、このような形でゲートウェイ機能も強化していくということを今考えているところでございます。

関西パビリオンに関する状況は以上でございます。

○三日月広域連合長　ただいま説明・報告のあった内容について何か御意見や御質問ございますでしょうか。砂も恐竜もそれぞれの府県の魅力も大変好評で多くの方が御来場されているということですし、隣接する大阪ヘルスケアパビリオン共々相乗効果を発揮していければと、何より万博全体に大変多くの方がお越しにいただいているということで、暑さ対策等も一定講じながらこれからも終盤に向けてより多くのお客様をお迎えしていこうと。

平井委員、どうぞ。

○平井委員　この万博ですけども、吉村知事あるいは横山市長にリーダーシップを取っていただいて、関西の歴史を塗り替えるような大成功ということになったと思います。是非最終盤に向けまして、願わくば今外国人のお話しもありましたが、もう少し多くの方々、なるべく違った人たちに見ていただける努力を三日月広域連合長、森館長にお願いを申し上げたいと思いますし、また、せっかくいろいろな絆が生まれてきましたので、それを生かしたレガシー事業を広域連合としても考えていただければ大変ありがたいと思います。効果測定のお話しがありましたが、実は鳥取県も独自に来場者にアンケートを取っていますが、95%以上の人に満足いただいております、99%の人が現地に行ってみたいと回答しています。万博のお祭りムードの中で喜びがあるものですから、すごいポジティブな反応になっているということだと思います。そういう意味で非常に関西パビリオンはゲートウェイとして素晴らしい機能を果たしている

ことに感謝申し上げたいと思います。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。砂のつながりもいろいろとこれから広げていけたらいいなと思いますね。他でございますでしょうか、吉村副広域連合長どうぞ。

○吉村副広域連合長      平井委員におかれては、砂同盟含めていろいろなところで国々と鳥取とのつながりを深めておられて、本当にこの万博を通じて鳥取の魅力を発信されているんだということに敬意を表したいと思います。

また、新たなつながりが関西においても非常に広がってきていると思いますので、せっかくこの万博をやったわけですから、やはりこの関西の魅力を各地に発信する。そしてまた万博ではカーボンニュートラルの技術であったり、クリーンエネルギーの技術であったり、いろいろな新しい技術がどんどん発信されています。そこは関西の多くの企業も関与しているので、そのレガシーをしっかりと広域連合としても次につなげていくという取組をやっていくべきであり、そこは我々としてもしっかりやっていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。今後の計画等も含めてしっかりそういうところを反映していくべきだと思います。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。本当に多くの方がお越しいただいているということと、様々な未来に向けた展示・紹介・発信されておりますので、そういったものを生かしていけるような取組を今後つくっていききたいと思います。

他にないようでございましたら、もう1点資料として「関西WEEK」がございます。こちらは9月29日から10月5日に大阪・関西万博のギャラリーEAST及びポップアップステージ南で多彩なイベントを最終盤になりますが用意しておりますので、また皆様で力を合わせて各分野事務局でいろいろと御苦勞いただいていることもあろうかと思っていますので、しっかりと楽しんでいただけるように努めていきたいと思っています。

それではこの内容を以上といたしまして、福井県、三重県は御退席となります。引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

それでは、報告事項に移ります。「防災庁地方拠点設置に係る要望活動の実施結果」につきまして、広域防災局からまず御報告をお願いいたします。

○広域防災局　資料2を御覧ください。これまで1月に三日月広域連合長から瀬戸副大臣へ直接要望を実施していただいておりますが、その後6月の政府による骨太方針におきまして、令和8年度中の防災庁の設置が明記をされますとともに、地方拠点の検討について進めるとされております。このような中、改めて官民で連携をして地方拠点の設置を強く要望するため、一昨日の8月26日に三日月広域連合長と関西経済連合会の檜原副会長により、赤澤防災庁設置準備担当大臣に対しまして直接要望活動を行っていただきました。三日月広域連合長からは、阪神・淡路大震災の経験やこれまでのカウンターパート方式による被災地支援の実績、官民の研究機関などの集積、そして南海トラフ地震における自衛隊などとの連携の容易性、経済界との緊密な連携など防災庁地方拠点としての意義について、そして檜原関経連副会長からは国内第2の経済圏であり多くの企業などが首都圏のバックアップ体制を既に構築しているとともに、関西広域連合と官民連携により関西全体の防災力強化に取り組んでいるなど、拠点設置の素地があることなどについて御説明をいただいたところであります。赤澤大臣からは「重い意見としてしっかりと受け止める」との御発言があったところであります。現時点におきましては、地方拠点について具体的な検討状況など不明な状況であります。国の設置準備室とも意見交換をするなど、引き続き関西への設置に向け要望してまいりたいと考えております。以上でございます。

○三日月広域連合長　急遽でございましたけれども今報告のあった内容の要望活動に関経連とともにさせていただきました。赤澤大臣は大変お忙しい中お時間をいただいて、我々の説明に対して「大変説得力のある説明だな」ということでお聞きいただきましたし、平井委員にはいろいろと事前に様々な情報等も賜りながら、南海トラフの際にできるだけ被害を少なくするためのこういった地方の拠点はとても大事だという観点からの御指摘もあったところでございます。

私からは既に要望・発信されている、大阪府・大阪市並びに兵庫県・神戸市へのこの拠点の設置ということと言及し、要望させていただくとともに、南海トラフで太平洋側に大きな被害があるとするれば、やはり日本海側の拠点の必要性ということから、鳥取県で様々な検討をされている内容等につきましても、関西広域連合の一員として支持をするという旨の発言もさせていただいたところでございます。何か皆様方のほうで御意見・御質問等ございますでしょうか。

どうぞ、齋藤委員。

○齋藤委員　三日月広域連合長には御要望ありがとうございました。8月末に概算要求ということですが、地方拠点についても注視をしていきたいと考えておりますし、関西広域連合として、そして経済界からも御支援いただいていることは大変ありがたいと思っています。引き続き関西広域連合と関経連の事務局で設置しているタスクフォースなどを通じまして、地方拠点の設置についての連携も取り組んでいきたいと思っています。

そして地方拠点についての要望の深化や、課題や受入れに関する整理についても図っていききたいと考えていますし、併せまして国の分散備蓄拠点として決定しております兵庫県立三木総合防災公園に加えまして、現在国の大規模な広域防災拠点として位置付けられることを念頭に整備を進められております、奈良県の五條市の南部中核拠点など、各構成団体の防災拠点をネットワーク化していくことで、関西全体の防災力の向上を図っていくことも大事だと思いますので、その点もまたこれから議論を深めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○三日月広域連合長　ありがとうございます。後藤田委員。

○後藤田委員　ありがとうございます。この中部方面総監との連携も非常に大事だと思います。国内には5つの方面隊がありますが、1つのところで2府19県をカバーしているというのはノウハウも経験も積まれていると思いますので、そこと防災庁が連携するということは大変重要だと思っています。



○三日月広域連合長      ありがとうございます。今お二方から言われた経済界とタスクフォースをやって、常日頃様々な議論をしているということでもありますとか、中部方面総監、2つの師団と2つの旅団の2府19県との連携を取っているということも他の地域にはない取組として評価されておりましたし、文化庁はじめ政府機関の地方移転を既に実現しているのはこの関西だけで、地方自治体と政府の機関が一緒に様々な取組ができる素地があるということも併せて説明したところでございます。是非何らかの形で要望が実るよう引き続き頑張っていきたいと思っております。

他にないようでしたら以上とさせていただきます、続いて「KANSAI伝統文化EXPO」の開催結果について、こちらは西脇副広域連合長から御説明お願いいたします。

○西脇副広域連合長      資料3を御覧ください。万博会場で実施いたしました文化発信イベント「KANSAI伝統文化EXPO」の開催結果について簡潔に御報告いたします。8月9日から11日までの3日間、関西パビリオン多目的エリアにおきまして、関西の歴史や風土に根差した伝統芸能団体7団体に出演いただきまして、実演ステージを開催しました。併せまして人形浄瑠璃の人形操作や踊りの体験ということで来場者が参加できるプログラムも実施いたしました。強風や小雨ということで非常に不安定な天候の日もありましたが、出演団体の入場時には雨も止んで観客席側からの練り歩きによる迫力ある演出が実現いたしました。また、来場者の皆様が人形に触れたり、獅子舞に頭を噛まれて無病息災を願ったり、踊りや太鼓を一緒に楽しんでいただくということで、3日間で4,400名を超える方々に御来場いただきました。これからも関西の魅力を国内外へ広くPRをいたしまして、関西各地への周遊促進につなげてまいりたいと思っております。引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。

以上です。ありがとうございます。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。これだけ多彩な団体に来ていただいて、いろいろな道具・用具も含めて御準備、御発信いただくのは相当事務局の皆様も大変だったと思いますが、関係者の皆様の御尽力に心から感謝したいと思います。

御意見・御質問がないようでしたら御確認いただいたものとしまして、続きまして「関西広域連合協議会委員の任期満了に伴う委嘱」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料の4を御覧ください。今月末で任期満了となります、関西広域連合協議会委員につきまして、次期2年間の委員を委嘱いたします。概要といたしましては、委員総数51名のうち新たに委員委嘱される方が12名、継続が39名となっております。このうち女性の参加につきましては24名となっております。今後の予定でございますけれども、新たな委員によりまして初めての協議会を来月の連合委員会の開催日9月23日13時からNCB会館で開催を予定しております。

2ページ目につきましては、委員名簿を添付させていただいております。説明は以上でございます。

○三日月広域連合長 今御説明のあった内容のとおりでございますが、御意見・御質問よろしゅうございますね。御確認いただいたものといたします。

それでは最後の話題になりますが、万博催事「いのち育む“水”のつながりWEEK」開催結果につきまして事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 関西パビリオン多目的エリアにおきまして、先月の7月30日から8月3日にかけて万博催事「いのち育む“水”のつながりWEEK」を開催いたしました。資料5を御覧ください。5日間で延べ1万9千人強の来場者がありました。2ページ目以降が催事の内容でございます。上段の左中央の写真になりますが、琵琶湖・淀川流域における現状と課題等についての動画の放映や、水のつながりを表現した大型イラストパネルの展示を行いました。

右側の上段と下段の2枚の写真になりますが、大学の研究室の方々に御協力いただきまして、人工的に川の流れを作りだす実験装置を用いて川の成り立ちや、堤防を作って洪水を防ぐ方法を学ぶ講座を行いました。

下段の左側と中央の2枚になります。ペットボトルの蓋を用いたミャクミャクの

モザイクアートになります。上流域の滋賀県産材の木材パネルを滋賀県森林組合様に御提供いただき、下流域の大阪府の水都国際中学・高等学校の生徒さんに背景のデザインや、当日のサポート等を御協力いただきました。左下の写真のように来場者の方に蓋を貼っていただき、完成したものが中央の写真になります。

続きまして3ページを御覧ください。上段になりますが、環境保全活動をはじめ水辺の観光や、水文化の振興に取り組まれている企業・学生・団体様に御参加いただき、日替わりで体験型のワークショップやブース展示を行いました。具体的には間伐材を活用した積み木の体験や、アクセサリーの制作等を実施いただきました。

下段の写真になります。最終日にはクロージングイベントとして三日月広域連合長と環境保全活動に取り組む滋賀県・京都府・大阪府の高校生が流域の未来について意見交換を実施いたしました。琵琶湖・淀川流域に加え、大和川流域で活動している堺市の高校生にも参加いただき、普段取り組まれている活動や流域内の水にまつわるお気に入りの景色ですとか、生き物の写真を発表していただいた後、それぞれの地域から上流や下流に期待したいことや、好きな水辺の景色や生物を守っていくために、みんなでどういうことができるかということ意見を交換していただきました。今回、万博の機会を通じ、他流域の方々も含め国内外から来場された方々に水のつながりについて理解を深めていただくとともに、様々な団体に御協力いただきまして、地域や分野を越えた人のつながりが形成できたと感じており、更なる連携の促進に向けて、今後とも機運の醸成を図っていきたいと考えております。報告は以上になります。

○三日月広域連合長　　今報告のあった内容のとおりでございますが、何か御意見・御質問ございますか。よろしゅうございますか、どうぞ齋藤委員。

○齋藤委員　　ありがとうございます。いのち育む“水”のつながりということで大変大事なテーマだと思っておりますが、一方でやはり今年の夏も問題となったのが高温・渇水ということでございまして、特に農業への影響が大変深刻になっています。特に雨が少なくなっているということで、兵庫県内はじめ関西各地も農業への渇水対

策ということでポンプの設置や稼働であったり、いろいろな対応をされていると思いますけれども、国もしっかり補助事業の設定をして対応いただいていることには感謝申し上げますと思いますが、一部８月１日以降しか補助対象になっていないということなど、関西は梅雨明けが大変早かったので、そういったところへの支援も柔軟にやっていただくということも大事だと思っていますし、今後こういったことが毎年続く可能性もありますので、臨時的、緊急の対応というものでいいのか、それとも恒常的にトリガーを引けばいつでも発動できるようにしていくほうがいいのか、そういったところの国・県そして市町村との連携も大事かと思っています。それから渇水に加えて高温になっていますので、カメムシが例年の倍以上、大量発生しているという状況になっていまして、これから稲の刈取りの時期になっていまして、特に遅いお米については影響が深刻化してくる可能性がありますので、国も防除対策をしっかりやっていただいておりますけれども、そういった実施の条件に関して現場の実情を十分に把握して柔軟に対応していただくということも大事だと思っていますので、引き続き関西広域連合としての府県市の取組の実情の共有であったり、必要に応じて国との意思疎通も大事だと思っておりますので、一言発言させていただきます。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。いずれもとても重要な提起だと思いますので、カメムシの防除対策につきましては、それぞれの府県市の取組を共有するとともに、農林水産を担当していただいております、和歌山県とも連携いたしまして緊急要望というようなことも含めて対応を検討していければと思いますが、いかがでございましょうか。宮崎委員どうぞ。

○宮崎委員      確かに渇水問題が大変深刻になっている状況、それとカメムシに限らず害虫でクビアカツヤカミキリ、それからナガエツルノゲイトウというような草ですね。そういったものの被害が非常に深刻になってきているということで、広域連合長とも相談しながら緊急要望をする方向性で行きたいなと思っています。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。また高温・渇水対策につきましては、

「いのち育む“水”のつながりWEEK」ということでやってきた実績を踏まえて、毎年こういったことも気候変動で想定されますので、どのようなことを考え、またどういう対策を取っていけばいいのか、是非水のつながりが非常に深い関西として主体的に検討もしていきたいと思いますので、またよろしくお願いいたします。

他に何かございますでしょうか、後藤田委員どうぞ。

○後藤田委員      ドクターヘリについて現状でございます。皆様御案内のとおり7月から8月にかけていわゆる整備士の不足に伴う運航停止ということで医療現場に対しては大変御迷惑をかけているところでございますが、当該ヒラタ学園とも随時協議をしているところでございます。

その中で昨日、協議をした中で、9月につきましても運航停止を余儀なくされる可能性があるという話がありましたので、皆様方に共有させていただき、根本的な改善策というものを、これは大きな意味での医療提供体制の一つだと思っておりますので、厚生労働省並びに航空局、そして今日お集まりの知事の皆様、そして担当部局ともしっかり連携・相談をさせていただきながら、また三日月広域連合長とともに緊急対策を含めてやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。このドクターヘリもまさに命の砦として大変重要な役割を果たしている、関西広域連合の重要な実績の1つであります、ここに来て整備士不足等の様々な課題が顕在化して、ある意味では契約に基づく運航がされていない状況が続いておりますので、こういった事態にどのように対応していくのかということについて広域医療を担当していただいております徳島県とまた私も含めて協議をいたしまして、対応を考えて行きたいと思えます。ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

それでは以上をもちまして第180回の関西広域連合委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

○本部事務局      それでは、続きまして記者会見に移らせていただきます。質問をお

受けいたしますので、私が指名いたしましたら所属とお名前、そしてどなたへの質問であるかこれを明らかにされてから御質問いただくようお願いいたします。御質問のある方は挙手をお願いいたします。

○NHK NHKの池之端と言います。防災庁の設置への要望活動について、三日月広域連合長と宮崎委員にお尋ねしたいのですけれども、まず赤澤担当大臣の反応についてもう一度詳しく三日月広域連合長にお尋ねしたいのと、宮崎委員には和歌山県としての関西への防災庁の地方拠点の設置についての考えを改めてお尋ねしたいです。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。先ほど報告がありましたとおり、8月26日に赤澤大臣に要望いたしまして、赤澤大臣はこのテーマは大臣になられる前から取り組んでいらっしゃいましたし、南海トラフ地震の危機感も出されながら被害を最小限に食い止める事前防災等に対処する組織の必要性、そしてそれらを1つだけ、東京だけということではなくて地方の拠点もつくる形で整備することの必要性について、強く私たちにも説かれるとともに、私たちが阪神・淡路大震災を経験し、また経済界とも連携しながら様々な取組をしている能登半島地震、東日本大震災のときのカウンターパート方式の支援をしてきた実績等も御紹介しながら、関西にこの地方拠点を設置すべきだということにつきましては、大変説得力のある要望だということで話を聞いていただきました。なお、どこに置くか、どのように置くかということについては、なお政府で検討したいという御回答にとどまりましたが、大変この時期の要望としては有意義な要望になったのではないかと思います。以上です。

○宮崎委員 和歌山県は南海トラフの地震が来たときに、徳島県もそうですけれども、被害を直接いち早く受ける地域でありますので、今回関西に防災庁ということをや要望していただいたことも相まって、非常に大事であると。やはり南海トラフの地震が来たときに海沿いの津波が一番恐ろしいわけですね。それに対してのいち早く救助ができる状態を関西で拠点として持っていただくというのは、非常にありがたいし、一番推奨したいと思っています。日本国全体でいろいろな役割分担をして助けていた

だけの方向性は打ち出しているのですけれども、その拠点が関西であるというのは非常に心強いと思っています。

○NHK      ありがとうございました。もう1点、齋藤委員が話題にされたカメムシの緊急要望についてですけれども、宮崎委員、方向性をもう一度お話しいただけますか。

○宮崎委員    先ほどカメムシの実態をお聞かせいただいて、非常にこれからまたカメムシも発生する時期になってくるのですけれども、非常に増えている、更に被害も大きくなっているということをお聞きしています。和歌山県でも同様の事態が起こっているということ、カメムシだけじゃなくて他の害虫もたくさんあります。それから外来生物というのもたくさんあります。そういったことも含めて一緒に要望できればというようなことも考えております。具体的な話ではないのですが、カメムシについては一番喫緊の話かな、それと治水対策についてはそうかなと思っています。

○齋藤委員    少しカメムシについて補足しますと、今年は例年の倍以上の発生が想定されていまして、お米ができて上がる時期にちょうどカメムシがかじったりしているということで、一等米比率だったり収量に大変深刻な影響を及ぼす可能性があるということです。国も農薬を使った防除対策などしっかり支援策は用意していただいているのですけれども、より現場の実情に応じて使いやすい対応をしていくということなど、様々な課題があるということです。お米の値段がこれから国民生活にとっても大変大事なときに、お米の収量や品質への影響がかなり懸念される事態になってきますので、価格の影響を緩和する意味でも、食糧安全保障の意味でも、関西広域連合としてもしっかり対応していくということが大事だという意味でお話をさせていただいたという次第です。

○三日月広域連合長    会見はこれで終わりますが、先ほど委員会終了のときに私が発言するのを忘れました。資料配布として「監査結果の報告について」と「調理師・

製菓衛生師試験の実施結果について」報告資料がございますので、是非御参照いただきたいと思います。以上でございます。

これをもって委員会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会 11時49分